

広報せとうち11

令和3年
月号

絆で創る、魅力あふれる豊かな町づくり | みんなで早寝、早起き、ラジオ体操、朝ごはん!



まちの人口と世帯 | 住民基本台帳 令和3年9月末

人口 | 合計

8,631 人 (前月比: 0)

人口 | 男

4,246 人 (前月比: +2)

人口 | 女

4,385 人 (前月比: -2)

世帯数 | 合計

5,207 世帯 (前月比: +4)

今月の表紙 | 高知山からの夕焼けと雲海の写真 (提供: 岩元 剛 氏)

令和3年11月
264号

めばえ

今月の担当者
社会福祉法人幸喜会
児童発達支援事業所 ここ
管理者 昇 靖代

「小さな気づきを大切に」

児童発達支援事業所・放課後等ディサービスには、毎日元気に子どもたちが通ってきます。

放課後等ディサービスでのある日のこと、お母さんが迎えに来られたときのことです。庭に出て、A君が「ねえ、名前書けるようになったから見ててよ。」と地面に小枝で名前を書きました。お母さんが「すごいね、きれいに書けたね。」と言うと、A君は「もう1回書くから見ててよ。」と言い、地面をならして、また名前を書きました。お母さんは、「すごいね、今度は字が同じ大きさに書けたね。」と声をかけたのです。A君もお母さんも満面の笑顔で帰りました。

同じ事柄でも、違う方向から褒める視点を持ち合わせている素敵なお母さんだなあと感じました。

褒めることは大事とわかってはいますが、あらゆる方向から、いつでも褒める視点を持ち合わせることは容易ではありません。

「褒める」ことは「認める」こと。認められると嬉しいし、もっと頑張ろうと思います。褒められることで「自己肯定感」が高まると言われます。

以前、ある会で紙と鉛筆を渡され「あなたの良いところを20個書きなさい」と言われて、5・6個しか書けなかったことを思い出しました。

また、テレビの「子ども博士」の番組で子ども博士の一人に、「あなたの良いところは何ですか？」とのインタビューに、「生きていることです。だって生きていなくちゃ大好きな研究はできないから。」と答えていました。これが究極の自分への褒め言葉だと感動しました。

自分を褒め、他人を褒め、自己肯定感を育てていくことが大事だと感ずる毎日です。



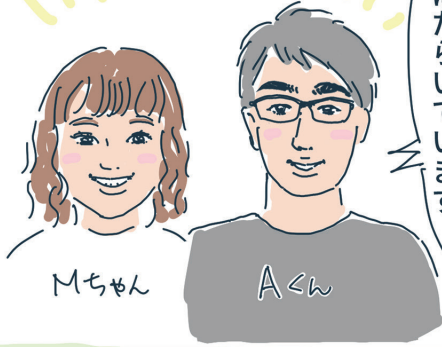
教育委員会社会教育課 生涯学習係 岩永由希子 ☎72-2905



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



今回はAくんのお話



有機農業を研究する施設で、約1年間
はたらいています

インターンでせとうちに
来ていた学生さんたち

へー、どんな人
たちなの？

うがみんしょうらん！
エスさん、エスさん、
わたし最近、内地か
ら来たお兄さんお姉
さんとお友達になっ
たつちよ！



島外から見た奄美のSDGs



若い人で海のレジャーや観光に
興味がある人がいるのはよく知
られているけれど、Aくんたち
はちよつとちがうんだよね。
奄美のどんなどころに興味があ
るのかな？

まず魅力的なのは、持続可能
性が保たれていて、生態系が
豊かなこと。

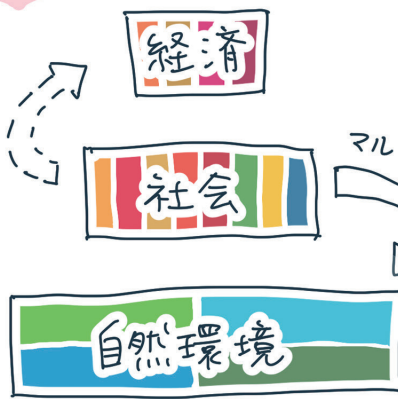
特に、自然と人が共生してき
た生活や文化がまだ残って
いるから、すごく面白い！

都会のように、自然に負荷を
かけ過ぎない生活。

たとえば自然素材の大島紬
や、木で作ったエギを見た時
はおどろきました。



それから、
自分や家族が食べる野菜などを
自分で作っている人が多いこと
も、自然への負荷が軽くなるこ
とにつながっていると思います
あるもので、作れるもので、
農業もほとんど使わない



販売農も立派な産業だけれど、
奄美らしい自給農を経済につ
なげて循環させるいい方法を
探りたくなり、今は大学に戻
って農業経済を学び直していま
す。

当たり前前に感じて
いることだけれど
再発見があるね



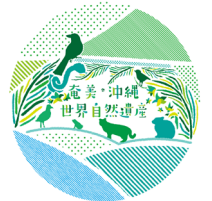
☆次回はMちゃんのお話—

11月のお知らせ

お問い合わせ先に各課の直通番号を記載しています。
 役場代表のお問い合わせ先はこちらです。
 ■瀬戸内町役場代表
 ☎72-1111
 ※なお、平日の17時15分以降や休日は宿直室につながります。

「世界自然遺産の島」奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島

vol.81



AMAMI・OKINAWA
 World Natural Heritage
 © amami-anc

ガバメントクラウドファンディングを実施中です！

今年7月に「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」は世界自然遺産に登録されました。登録されたことで、①世界にその美しさを発信・認知してもらえる、②後世に残すべき遺産として扱われる、③国内外からの観光客が増え、地域に活気が生まれるなど、多くの良い影響がもたらされます。その一方で、遺産を持つ自治体は、希少種保全や外来種対策、観光との両立など、「遺産価値の維持・継承のための保護活動」に取り組むことが必要

となります。

そこで、この度、世界自然遺産地域となった各自治体で、自然保護活動を行うためのクラウドファンディングを立ち上げました。足並み揃えて保護活動のプロジェクトを遂行することで、登録された遺産を全体で守っていくという取り組みです。瀬戸内町では「世界遺産登録記念、自然との調和をめざして」というプロジェクト名で、アマミノクロウサギとの共生を目指し、ロードキル対策としての看板等の制作や、たんかん(樹木)の食害防止柵の設置などを実施します。この先も、多様性に満ちた

豊かな自然・文化を守り受け継いでいくため、自然との調和を目指してできることから一つ一つ取り組んでいきたいと思えます。町外にお住まいのご親戚や知り合いにもぜひ本プロジェクトをご紹介いただき、皆さんのお力添え、ご支援をよろしくお願いいたします。

【寄付募集期間】

令和3年11月10日まで

「ふるさとチョイス」
 ガバメントクラウド
 ファンディング



ガバメントクラウドファンディングとは？

ガバメントクラウドファンディングとは、ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」がふるさと納税制度を活用して行うクラウドファンディング(※)です。自治体が抱える課題解決のため、ふるさと納税の寄付金の「使い道」をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄付を募る仕組みです。

※クラウドファンディングとは、不特定多数の人が通常インターネット経由で他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うことを指す造語です。

※住民票登録のある自治体「市区町村」と「都道府県」以外へのご寄付であれば、お礼の品を希望することができます。



↑ガバメントクラウドファンディング担当者

■お問い合わせ先 農林課農政係 ☎ 0997 - 72 - 1174

集落ぐるみで鳥獣を寄せ付け
ない取組を実践しましょう

捕獲や柵だけに頼って
いませんか？
知らず知らずのうち
に餌付けをしていま
せんか？

●集落内の実態を把握し、集落ぐるみで農作物を守りましょ
う！

①集落内の環境点検の実施
鳥獣のえさ場やすみか、けものみち、被害対策の実施状況などの点検

【点検の視点】
・えさ場（放任果樹、野菜くず等）と成り得るものはないか
・すみか（ヤブ、けものみち）と成り得るところはないか
・侵入防止柵の設置場所と管理状況は適切か

②無意識の餌付けの禁止
・放任果樹の伐採、落下果樹の除去
・収穫残渣を放置しない
・畦畔や法面では青草を出さない
③人慣れをさせない
・道具や犬などを使っての追払いを行う（人間は怖いと学習させる）
④農地に近づけさせない
・集落内のすみかや隠れ場をなくす（耕作放棄地、茂み、ヤブの解消）
・集落内の見通しを良くする（緩衝帯の設置、枝打ち等）



■お問い合わせ先 農林課農政係 ☎ 0997 - 72 - 1174

果樹の生産拡大を図るため苗木購入費を一部
助成します。（瀬戸内町果樹産地育成助成事業）

果樹の生産拡大を図り、農家の安定的な所得向上と産地確立を図るため。苗木購入費を予算の範囲内で一部助成を行います。

■対象者
①瀬戸内町内に居住する農家
②瀬戸内町農業振興会果樹部会員及び町が認める農業者及び生産者団体

■助成内容
果樹苗木購入費の一部助成

①かんきつ類、その他の苗木
5本以上購入に限る
②アボカド苗木
3本以上購入に限る

■申込方法
①かんきつ類、その他の苗木
町が指定する種苗取扱い店で苗木の申し込みを行ってください。
・あまみ農協瀬戸内支所
・畑種苗店
②アボカドの苗木
役場農林課農政係（アボカド生産部会事務局）まで申し込みください。
※予算の範囲内で苗木の上限本数を設定します。



■お問い合わせ先 瀬戸内町文化祭実行委員会事務局 ☎ 0997 - 72 - 1117

令和3年度「瀬戸内町文化祭」中止のお知らせ

11月6日(土)・7日(日)に開催を予定しておりました令和3年度「瀬戸内町文化祭」につきましては、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、本年度の開催を中止することに決定いたしました。
開催を楽しみにされておられた皆様には誠に申し訳ございませんが、何卒御理解賜りますようお願い申し上げます。



↑一昨年度文化祭の様子